

重いものをたくさん下げて、母の日なのに私には何もない散々な日と思つていました。

翌日になる大学生の長男からケキ、高校生の長女と中学生の次女からカーネーションの花束を贈つてくれました。

花束には手作りの素敵なカードが入つており、そこには「おかあさん、いつもありがとうございます。」と書いてありました。

子供たち曰く、いつも私が家の口一円や学費が大変だと言つてるので、どうしたらお母さんが喜んでくれるかを兄妹たちで考えてくれたそうですが、

シニア向けの展覧会が近所で催されました。毛糸で編んだベストや造花、折紙で作った立体の動物、様々な作品が並んでいました。とりわけ折紙で作った手まりの様な飾りが目に止まりました。私もあんなにかわいいきれいな飾りが作りたいなど思いました。

作者の名前を見るとIさん。受付に聞くと「今日はIさん いますよ。」と教えてくれました。

子供たちも独立をし、時間が出来たのでスーパーに4時間。パートで働き始めました。

社会人になつたばかりで未熟な私を一から十まで教えてくださつた、大変お世話になり、尊敬申し上げてゐる方が、米寿のお祝いを迎へられるので、心ばかりの品にお手紙を添えてお送りしました。
大した事はなにもしておりませんが、大変喜んでくださいました。
「思いがけない誕生祝いのお言葉を頂き有難うございました。美しい封書にお祝いのお言葉、久しうぶりに学生時代に帰った様な、若やいだ心になりました。いつも喜びのある日々を送りたいと存じて居ります。」
とつづられていました。

●折紙の折り方を
ありがとうございます

部活の先輩は怖いと思つていました、優しくて、おもしろくて、とてもフレンドリー。でも、練習は素振りの基本ばかり。学校は男女共学、友達もできて、先生もおもしろい。今は楽しく高校生活を送っています。いい学校でよかったです。ありがとう。

廊下で作っていると、話したことのない人たちが声をかけてくれました。「折紙は手先を使うからボケ防止になつて元気で長生きします。私の母は百二才まで生きました。」「きれいにでき上がるまで、がんばつて。」そんな風に励まされて何とか作り上げました。

社会人になつたばかりで未熟な私を一から十まで教えてくださつた、大変お世話になり、尊敬申し上げてゐる方が、米寿のお祝いを迎へられるので、心ばかりの品にお手紙を添

●職場の先輩にありがとう

Iさん、ありがとう。
(日黒区/H・O)

● 一日遅れの母の日を
ありがとう

半額になるからたくさん買える。これはお母さんきっと喜ぶよ。」「えらい。よく考えたね。」といつた感じで。

今年から、我が家のお母の日は翌日になりました。子供たちの知恵に感謝、一日遅れの母の日をありがとう。

の母の日は翌日
たちの知恵に感
日をありがと
(柏市/M・K)

初対面のIさんですが、訳を話すと快く応じてくださり、「鶴を折る要領で途中まで折つたら、この様に折ります。」と見本を見せてくれました。

二十四個作り、これをつなぎ合わせて輪になります。中央の左右に一つずつつけ、丸の形になつたら完成です。そう言われてもなかなか思うようにはできません。すると「何個か作つていくと馴れてきて、きれいにできるようになりますよ。」と言つてくれま

シヨツクで落ち込みましたが、人どころではないという職場の雰囲気の中、一緒に働いている何でもできる先輩が、「ここまでやつといたので、後は大丈夫でしょう。」といつも優しく助けてくれます。思いやりのある先輩でお陰でなんとか務めていますが、もうだめかなと思う日もあります。それでも先輩と一緒に働けることが楽しく、良い人に出会えてとてもありがたいです。私もいつか先輩のように気配りができる、周りを助けてあげられるようになります。

●素敵なお返事を
ありがとうございます

狹江市 Y・S



075

6月



● 錢湯よ、ありがとう

街の中から、銭湯が消えていきます。つい先日も都内で一軒の公衆浴場が廃業しました。内風呂の普及が進んだのが要因とのことです。身体に支障がなければ、今でも銭湯に行き、あの大きな湯船につかりながら、思いきり手足を伸ばしてみたいものです。

昭和二十五年前後は、どの家も貧乏な日が落ちる頃になると朽ちてくすんだ木造の家々に明かりが灯りだします。やがて小道を夕食を済ませた少年3人がワイワイとにぎやかに銭湯にむかいました。みな同じように、ランニングシャツに半ズボン姿で、手には洗面用具を抱えカラコロと下駄の音をたてて歩いていきます。

銭湯について裸になり、脱衣場から洗い場の戸を開けると、湯船の上一面に大きく描かれた富士山が、湯気に霞んで見えています。この頃は、今では信じられないほど混んでいて、まるで芋を洗うがごとでした。そして少年たちが、勝手に湯を埋めようのなら「そんなんにぬるくすんじゃない！」とお年寄りに言われるは必然で、やれタオルは湯船に入れるなどと叱られましたが、思い返すとこれらは社会勉強の一端であり、裸でつきあいの出来るコミュニケーションの場



もありました。そして湯上りの最大のお楽しみ…。

それは、左手を腰にあてながら飲む、コヒー牛乳でした。3人とも「あ美味しい」といながら小さな幸せを感じていました。外へ出ると大きな月が、辺りを蒼くそめています。そして彼方からはチャラメラの音が聞こえてきました。お風呂屋さん、大変にお世話になりました。

(世田谷区/H・A)

● 近所のおばさんに ありがとう

近所のおばさんは私が嫁いで四十三

年、いつも優しく、「お茶を飲みにおいで。」と声をかけてくれました。

とても親切にして頂きましたが、去年の暮れからお見かけしないなあと、去

気になつて久し振りにお訪ねしてみる

と、今年百二歳を迎えるおばさんは、転ぶといけないので、外にはめつたに

出ないとのことです。が、とてもお元気でした。

自分の事は自分ででき、しつかりお

話もされ、七十六歳の娘さんがお世話

に通つて来ていましたが、「トイレか

ら出ると、『お尻ふいたの？手洗つた

の？』と、娘は私の事を子供扱いする

のよ。失礼でしょ。」なんて大声で話す(耳が遠い)、すごいエネルギーを感じ、見習わなくてはいけないと思いました。

励まそうと思っていましたが、昔も

いつも変わらず、反対に励ました。

いつまでもお元気で。ありがとうございます。

（川口市/T・Y）

● 大家族にありがとう

風薫る新緑に季節が変わり家の前の庭には、八十五歳の母が丹精込めて作つた、小松菜、スナップえんどう、玉ねぎ、かぶが育ちました。私が朝、道の駅に出しに行きます。

娘の次女が心配で家族みんなで病院通りをしましたが、今では嘘のように元気にお花の周りを走りまわっています。

夕食は採りたての野菜がたっぷり入った汁にサラダ。四人の孫たちもよく食べます。

十人の大家族の食卓はにぎやかで幸

せです。健康が一番。ありがとうございます。

(秩父市/N・S)

● 孫の写真をありがとうございます

娘から便りが届き、中に孫の初節句の写真が入っていました。

娘の小さい頃にそつくりで、どの写

真も笑顔でよく撮れていました。

まだ十一ヶ月、かぶとをかぶり、重

そうに二ツコリ。男子らしい写真でさっ

そく写真立てに入れて、リビングに飾

りました。

娘は子供の頃から愛想がよく、親戚

の人気が遊びに来ると、「何か忘れていらない？」と言い、笑顔でおこづか

いをおねだりしていました。そんな娘

の笑顔と孫の笑顔が重なり、思い出

して一人笑っていました。

初節句には忙しくて会いに行けなかつたけれど、今度会いに行くからね。か

わいい孫の写真をありがとうございます。

(市川市/M・K)

おがご編集へのご意見やご提案ください。是非とも案

お事りをオやたら送りたい方に、ささいに寄り添っていだくください。本誌は北海道から本誌までの友人知人から繩因りがとうのことをばーあら沖縄詩、俳句、短歌、写真、作文、絵画などを掲載します。作品は編集部までお届けいたします。

うお業ます皆様へ配をアレジナル「ありがとうメガネ拭き」

うお業ます皆様へ配をアレジナル「ありがとうメガネ拭き」



【原稿をお待ちしています。】



【携帯 Deショット】

昨日、カウンセリングルーム『たまゆら』に直径15センチ程のシャクヤクの花を届けてくださいました。ピンクの大輪の花は、重たげに咲きこの上なく美しい花言葉「恥じらい、はにかみ、清浄、威厳」

- 携帯電話の方はQRコードから →→→
- パソコンの方は下記のURLから ↓
- <http://1039.seesaa.net/>
- メールでのご投稿は… info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニックス総研・編集部